

# 建屋構造物の劣化対策に関する検討状況

2019年2月18日

---

東京電力ホールディングス株式会社

# 検討状況

- デブリ取り出し作業などの中長期的な廃炉作業を着実に実施するために、建屋に要求される機能について整理を進めると共に、要求機能に応じた「モニタリング方法」や「劣化防止策」を検討する。
- 対象施設としては、デブリ取り出し完了までの長期間に渡り、閉じ込め性能を保持する必要のある、原子炉建屋を対象に検討を進める。
- なお、「建屋の損傷」や「高線量エリアでのモニタリング」を踏まえると一般建物とは異なる「クライテリア」や「保全手法」の構築が必要と思われることから、下記のスケジュールにて検討を進める。

	2018年度	2019年度		2020年度以降
		上期	下期	
既往の保全手法の適用性検討・現状の整理・方針検討				
廃炉作業に必要とされる建屋の健全性クライテリアの検討				
高線量エリアにおける躯体状況の確認方法の検討				
要求クライテリアに対する劣化防止対策の検討				

2019年度の検討状況経過により実施項目や時期を決めていく